



国立大学法人 千葉大学
National University Corporation
Chiba University



株式会社 **マツモトキヨシ** ホールディングス

Matsumoto Kiyoshi
Holdings

2013年3月5日

国立大学法人 千葉大学
株式会社マツモトキヨシホールディングス

PRESS RELEASE

千葉大学大学院薬学研究院にドラッグストアとして初となる 「医薬品情報学(マツモトキヨシホールディングス)寄附講座」を設置

国立大学法人千葉大学(千葉県千葉市、学長:齋藤康、以下千葉大学という)と株式会社マツモトキヨシホールディングス(千葉県松戸市、代表取締役会長兼社長:松本南海雄、以下マツモトキヨシHDという)は、高齢化社会の急速な進展や医薬分業の推進により、多様化する保険薬局業務に対応するための各種対応が重要であるとの共通認識から、医薬品適正使用の普及、地域医療への貢献、医療関連サービスの充実を目的に、千葉大学大学院薬学研究院に「医薬品情報学(マツモトキヨシHD)寄附講座」を設置することといたしました。

130年の歴史を誇る千葉大学は「つねに、より高きものを目指して」を理念に、世界を先導する創造的な教育・研究活動を通しての社会貢献を使命とし、生命のいっそうの輝きをめざす未来志向型大学として、たゆみない挑戦を続けております。

一方、マツモトキヨシHDは、「1st for you. あなたにとっての、いちばんへ。」をグループ経営理念に、お客様・地域社会・お取引先様・株主・従業員等、直接または間接的に関係のある全ての方々に1番の存在でありたいと日々の経営に邁進しております。

日本の現状は、高齢化社会の急速な進展や医薬分業の推進により保険薬局の業務は多様化しており、取り巻く周辺環境の変化に対応するためには、臨床から得られた情報の収集・評価・解析・再構築・標準化を実施し、その成果を臨床現場へ還元する医薬品情報業務を系統的な調査研究として構築することが重要であり、これら業務の実践には、臨床情報の集約的管理、学術研究の実施、研究結果の公表が必要であるとされております。

このような状況を鑑み、広くチェーン展開するマツモトキヨシHDの持つ膨大な医薬品情報を収集し、その情報についての解析、標準化等の研究を実施することにより医薬品の適正使用の普及、地域医療への貢献、医療関連サービスの充実に資する情報の開示を行うこと、および、これらの課題の解決や高度な知識、技能を具備する指導的役割を担う人材の育成を目的として「医薬品情報学(マツモトキヨシHD)寄附講座」を設置するものであります。

寄附講座の概要

1. 大学および部局名

国立大学法人千葉大学 大学院薬学研究院

2. 名称

医薬品情報学(マツモトキヨシHD) 寄附講座

3. 設置期間

平成 25 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日の 3 年間

4. 教育内容

スモールグループディスカッション、フィールド研究などを通じてドラッグインフォメーション(DI)業務に対する科学的な基盤を構築するとともに、解析方法の開発や標準化等に関する研究を実施する。

また、本研究成果を学会発表や論文発表により広く開示することにより、保険薬局業務の進展を図る。

さらに、こうした研究活動を通して、指導的薬剤師の育成を行う。

5. 研究内容

- 1) 一般用および医療用医薬品の情報学的検討
- 2) 在宅医療の在り方に関する検討
- 3) 医療経済学の検討

6. 期待される効果

- 1) 医薬品適正使用、地域医療、医療連携サービスに関する調査・研究を実施することにより、保険薬局およびドラッグストアにおける薬剤師の在り方、貢献度向上に資する情報の創出。
- 2) 全国展開している店舗からの膨大な医薬品情報を一括管理、解析することにより、薬剤師の新たな職能の創設につながる事が可能となる。
- 3) 高度な知識・技能・態度を有する指導的役割を担う人材を育成することにより、保険薬局、ドラッグストア、病院薬局、大学間での効率的な連携を可能とし、医薬品の安心・安全な使用の促進や地域社会との連携・協調に大きく貢献すること。

以上

◇本件に関する問い合わせ先

国立大学法人千葉大学 薬学部総務係
043-226-2853(直通) FAX: 043-226-2857
〒260-8675 千葉市中央区亥鼻1-8-1

株式会社マツモトキヨシホールディングス 広報室
047-344-5110(代表) FAX: 047-344-5144
〒270-8521 松戸市新松戸 1-483